

進路と向き合う その1 ～面接試験から考える～

進路指導部長 岸 貴司

就職試験・進学試験で、面接は特に重視されます。どんな生徒でも、一度は必ず面接という関門を通ります。逃げることはできません。就職試験でも、公務員試験でも、大学・短大・専門学校のAO・推薦入試でも必ず面接試験はあります。特別に面接試験がない学校でも、学校卒業後就職するために1～2年後には必ず面接試験を受けます。

ある年、就職試験前日に私に面接指導をお願いに来た生徒がいました。前日ですからもちろん最後の仕上げのつもりで指導しようとしたところ、『志望動機』を噛みながら言うのが精一杯、『長所短所』も、『逆質問』も、『部活』についても言えません。自分のことや学校生活のことを全く話せなく、入退室や面接試験の態度・心構えさえできていなかったのです。びっくりした私に「人生がかかっている大切な試験なのに、今まで何やってたんだ！」と強く指導され、本人はとても慌ててました。そこから時間をかけて最初から答える内容を考え、岸マジックという名の魔法をかけ続け、何とか形を整えて送り出しました。

原因は本人の逃げです。「面接ぐらいなんとかなるだろう」という甘えと、「面接指導嫌だなあ。話すの苦手だなあ」とギリギリまで逃げ続けたため、こんなことになってしまったのです。つまり、進路と向き合っていないからです。ところが・・・そんな生徒でも多くの資格を持ち、部活動でも活躍しています。大変もったいない。

私が先輩達が過去3年分に受験した企業から、面接試験を分析し、よく質問される内容をまとめたものが下の通りと

- 1位 志望動機[89社]
- 2位 部活動 [51社]
- 3位 長所[40社]短所[40社]
- 4位 逆質問[34社]
- 4位 家族構成[34社]
- 4位 自己PR[34社]
- 7位 高校生活での一番の思い出 頑張ったこと[33社]
- 8位 趣味[27社]特技[16社]
- 9位 資格について[25社]
- 10位 入社後何をしたいか・どんな仕事がしたいか[23社]



面接試験で答える内容の多くが「自分自身に関すること」や「学校生活について」です。これは自己分析をすることで、自分自身をよく知り、振り返り、面接で答える内容を作り上げていくことになります。そして、何度もこの進路通信で訴えているように「いかに充実した高校生活を送っているか」が求められます。「部活もサボっています。」「資格も取っていません。」「学校行事でも特に・・・」では、面接で答える材料もなくなるわけです。(私の面接指導を受けた3年生なら分かると思いますが、「引き出し」と表現していた内容です。) 高校生活全てが進路に結びついているのです。

1～2年生の皆さんには、目の前の授業や部活などの高校生活を送ること＝進路と向き合っていることを忘れずにいて下さい。そして、11月8日の専門学校ガイダンス、12月の学年進路ガイダンスなどを有効に活用して下さい。





採用内定者の声



このたび、見事就職試験に勝ち抜いた先輩方からお話を聞いてみました。第一弾となる今回は、情報海洋科(海洋類型、電子類型)の2人にインタビューをさせていただきました。1, 2年生の皆さんは、先輩方のアドバイスから、これからの高校生活をどのように過ごしたらいいのかヒントが見つかるかもしれませんね。

情報海洋科(電子類型): 菅野海斗

部活動: 硬式テニス部

内定先: 株式会社NEXCO東日本エンジニアリング

この企業を選んだきっかけは、見学したときに専門的な設備や業務内容の説明を受け興味を持ったからです。就職対策としては、主にSPI対策や、面接練習をしてきました。特に面接練習では、関係のない質問や突っ込んだ質問に対応するための練習が難しかったです。何度も練習して慣れることが大切だと思います。そのような中アピールできたことは、これまでに沢山の資格を取得してきたことや学校での成績などです。これから進路達成に向けて進んでいく1, 2年生の皆さんは、希望する企業についてしっかりとリサーチし、不安がなくなるまで就職対策をすれば自信をもって臨むことができます。分からないことは先生方に聞きに行けば丁寧に教えてくれます。

情報海洋科(海洋類型): 岡本凜汰

部活動: 硬式テニス部

内定先: 英雄海運株式会社

東日本大震災で、私は石油がとても大切なことを痛感し、石油タンカーの会社を希望しました。就職対策で苦労したことは、1年時からの専門教科(航海など)の復習と、石油に関する知識を勉強して覚えることです。面接では、元気よく受け答えすることが一番のアピールポイントだったのではないかと思います。ただ、面接は正直に話さないと苦労します。後輩達へのアドバイスとして、専門教科に関しては今のうちに習ってきたことを復習して、分からないことがないようにすることが大切だと思います。



1・2年生対象



第二回基礎力診断テスト結果分析

1学年の分析結果

1 国数英GTZ(学習到達ゾーン)が[C3-]→[D1+]と下がっている。

国語 前回[C2+] → 今回[C3+] down

数学 前回[C2-] → 今回[C3-] down

英語 前回[D1-] → 今回[D1-]

2 [D3]以下の生徒が「国数英」・「数学」で大幅に増えている。

国数英 前回 8人 → 今回25人

国語 前回 1人 → 今回 3人

数学 前回 1人 → 今回14人

英語 前回 11人 → 今回11人

3 前回よりGTZが上がった生徒は34人(約4分の1)。

A以上の生徒は1人→4人 と増加。

B以上の生徒は23人→14人と減っている。

4 クラス別GTZ下降者が上昇者を上回っている。

J科 上昇者 8人 下降者 22人 国・数・英[D3]以下の生徒 14人

S科 上昇者 13人 下降者 20人 国・数・英[D3]以下の生徒 2人

K科 上昇者 13人 下降者 20人 国・数・英[D3]以下の生徒 9人

5 事前学習「One-Weekトライアル」をやらなかった生徒が数学・英語に1人ずつ

6 1日あたりの学習時間が大幅に減っている。

「学習しない生徒」が2人→28人と増加。

全体 前回1時間29分 → 今回46分

J科 前回1時間33分 → 今回49分

S科 前回1時間30分 → 今回39分

K科 前回1時間22分 → 今回50分

7 学習力の教科面平均において(授業やテストの取り組みが)

「やらないことがあたり前」の生徒が4人いる。

8 「進路学習取り組み度」の「調べたいがわからない」が67人(前回60人)と多い。

2学年の分析結果

- 1 国数英GTZが[D2+] → [D2+]と変化なし。
国語 前回[D1+] → 今回[C3-] UP
数学 前回[D1-] → 今回[D2+] down
英語 前回[D1-] → 今回[D1-]
- 2 [D3]以下の生徒が国数英全体で33人→24人と減っている。
国数英 前回33人 → 今回24人
国語 前回12人 → 今回10人
数学 前回16人 → 今回16人
英語 前回21人 → 今回20人
- 3 前回よりGTZが上がった生徒は59人。約半分の生徒が上がっている。
A以上の生徒は0人(前回も)。B以上の生徒は4人→3人と減っている。
- 4 クラス別GTZ上昇者が下降者を上回っている。
J科 上昇者 17人 下降者 9人 国・数・英[D3]以下の生徒 14人
S科 上昇者 22人 下降者 10人 国・数・英[D3]以下の生徒 6人
K科 上昇者 20人 下降者 12人 国・数・英[D3]以下の生徒 4人
- 5 事前学習「One-Weekトライアル」をやらなかった生徒が
国語2人・数学1人・英語3人。
- 6 1日あたりの学習時間がさらに減っている。
「学習しない生徒」が61人→63人と増加。
全体 前回29分 → 今回24分
J科 前回24分 → 今回24分
S科 前回25分 → 今回20分
K科 前回38分 → 今回29分
- 7 学習力の教科面平均において(授業やテストの取り組みが)
「やらないことがあたり前」の生徒が5人いる。
- 8 「進路学習取り組み度」の「調べたいがわからない」が47人(前回56人)いる。
「言われたことを調べた」生徒が33人→41人と増加している。

次号予告

- ☺3年生の最新進路状況
- ☺合格者の声第二弾
(産業経済科より)
- ☺第3回定期考査にむけて

今後の行事予定

- ☺11/8 (水)専門学校ガイダンス
in 気仙沼アーバン
- ☺11/10(金)1,2年生公務員ガイダンス
- ☺11/30(木)2年生対象公務員模試

金田語録&編集後記

皆さん、文化祭はいかがでしたか。もう11月。文化祭が終わるとすっかり秋が深まりますね。進路通信の発行が大幅に遅れてしまい、毎月発行を楽しみにされている皆さん、大変申し訳ありませんでした。2回考査が終わったと思いきや、今月下旬には3回考査がやってきます。それが終わると、気分は年末❗ 時が経つのは本当に早い! Time flies like an arrow !!

